

[BOSAI TIDBITS]

BOSAI+ Tidbits



オンラインで受講できる「ペットのBLS検定」
(画像クリックで拡大表示)



9月9日「救急の日」と重なる形で同日は「ペットも救急の日」として正式登録
(画像クリックで拡大表示)



ペット BLS検定オンライン講座 公式テキスト
(画像クリックで拡大表示)



専用トレーニング器材(トイブードル・猫)
(画像クリックで拡大表示)

●ペットBLS検定、始まる 9月9日「ペットも救急の日」も 地区防災研究所(沖縄)が「ペット BLSトレーニングセンター」設立

琉球大学地域創生総合研究棟にある地区防災研究所(沖縄県西原町、代表:山本大樹氏)が先ごろ、「ペット BLSトレーニングセンター」を設立、合わせて、9月9日「救急の日」を「ペットも救急の日」とすることを正式登録し、本年(2022年)1月1日付で日本記念日協会に正式に登録された。

「ペット BLSトレーニングセンター」は、ペットの飼い主や、仕事などで動物、ペットと関わるすべての人に向けて、動物の救命法を講習するものだ。BLSは「Basic Life Support」のことで「心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置」を言う。

欧米では動物を守るために様々な施策が行われており、日本でも近年、市民団体が声をあげることで動物愛護法が大幅に改正され、飼い主やペット事業者の責任や義務が強化される条項が盛り込まれていることから、このような専門機関の設立は、動物愛護・動物福祉の観点からも大きな意義があると言えそうだ。

地区防災研究所は、防災士研修をはじめ地域防災リーダー養成や防災・危機管理人材養成に特化する事業を展開しているが、その発展形として「ペット BLSトレーニングセンター」を設立した。同所では、「コロナ禍でペットを飼い始めた人や、ペットを家族の一員であると考えている人が多くいるいっぽう、ペットが心肺停止状態に陥った際の救命法を知らないという飼い主は、93%にのぼる」(同所依頼の調査機関調べ)とし、「人間の救命方法は、学校の授業や車の運転免許取得時などに習得する機会が多くあるが、ペットの救命方法を学ぶ機会は非常に少ないのが現状。改めてペットにまつわる救命法の専門機関を設立し、その命を守ることで、動物愛護の活動を強化していく」としている。

今後の展開については、ペットの救命方法を学びたい人の72%がオンラインで学びたいと希望していること、また新型コロナウイルスの感染拡大予防対策として、オンラインで学べるペットの救命方法授業の配信を計画している。受講料は、「猫、小型犬、中型犬、大型犬」のトレーニング器材・講義動画・実技試験込みで、コース料金13,800円(1名、税共)。4名のグループで申し込み、コース料金26,400円(1名あたり6,600円、税共)となる(ほかに、2名・3名のコース割引料金設定もある)。なお、グループ申込み(家族や友人など同時受講プラン)の場合、1つのトレーニング器材はグループで共有となり、4名まで(6歳以上)。オンライン講義動画は全員が視聴可能(別デバイスでの視聴も可)となっている。

[>>ペットの BLS検定](#)

●9月9日「ペットも救急の日」(「救急の日」に重ねて)

毎年9月9日は国により「救急の日」と定められているが、これに重ねる形で同日は「ペットも救急の日」となる。日本記念日協会での正式登録が決まり、ペット救急についても改めて考える日として認知拡大が図られる。

ちなみに地区防災研究所は「琉球大学地域創生総合研究棟」内にある防災を専門とした団体。自治体向け防災計画策定の支援、企業向け避難計画・危機管理能力向上のための支援、住民向け防災意識向上に向けた研修会などが事業。山本大樹代表は救急救命士で、内閣府認定地域防災マネージャー。防災士養成にも力を入れている。

[>>地区防災研究所](#)

わが国最大級の
防災イベントと
災害史カレンダー

[>>随時更新……ここをクリック!](#)

Bosai Plus

防災カレンダー